

平成24年 4 月 3 日

今治市教育委員会
委員長 西原 透 様

大島地区学校適正配置地元代表協議会
会 長 矢野 峰廣

大島地区学校適正配置地元代表協議会の意見書の提出について

大島地区学校適正配置地元代表協議会は、「今治市学校適正配置基本方針」（平成22年2月策定）に基づき、大島地区の小学校・中学校の適正配置を検討するために、平成22年6月に設置されました。これまでに8回の協議を経て、次のとおり協議会としての意見を取りまとめましたので、提出いたします。

1 協議事項

「吉海小学校、宮窪小学校」

「吉海中学校、宮窪中学校」 の適正配置について

2 協議会としての意見

【小学校について】

1学年の人数が10人以下になる場合には、吉海小学校と宮窪小学校の統合を考える。

【中学校について】

吉海中学校と宮窪中学校を統合し、統合校を現吉海中学校の場所に設置する。

3 協議事項に対する考え方

当協議会では、「今治市学校適正配置基本方針」に示された、吉海小学校と宮窪小学校および、吉海中学校と宮窪中学校の適正配置について検討した。

全国的に少子化が進む中、当地区においても急速に少子化が進み、1学年10数名の学年があるなど、学校が小規模化している。協議会では、何よりも保護者の意見を優先するべきだとの考えから、保護者説明会を開くとともに、保護者アンケートをとる等の方法により、意見を集約してきた。その中で主には、統合すれば、学級数や友だちが増える、部活動が充実する、教育面が充実するなどといったメリット、反対に、通学距離が長くなり負担が大きくなるといったデメリットが挙げられた。アンケート結果等を参考に協議を重ねる中で、中学生は、体力的にも精神的にも力がついているため、まずは中学校を統合し、小学校については今後の協議としてはどうか、という提案がなされた。

また、ある程度は行政で方向付けをしてほしい、行政からの案を示してほしいという発言を受け、教育委員会から、中学校を統合するのであれば、施設面において吉海中学校に設置するのが適当であるという発表がなされた。これを受け、各保育所、幼稚園および小・中学校の保護者を対象に、アンケートをとった結果、中学校の統合（統合校は、現吉海中学校場所に設置）について賛成34.4%、協議会での結論に委ねる42.4%、反対18%、その他5.2%であった。この結果を踏まえ、再度協議した結果、当協議会としては、中学校については、統合するのが望ましいという結論に達した。

同アンケートにおいて、小学校については、「1校1学年の人数が10人以下になったとき」または、「複式学級となるとき」には、統合を考えるべきであると答えた保護者は78%にのぼった。過小規模の小学校に、保護者は問題を感じているという結果である。当協議会としても、このまま小規模化が進めば、統合は避けて通れないと考え、複式学級となる手前、1校1学年の人数が10人以下となるような場合には、統合を考えるべきだという結論に達した。

4 配慮すべき事項

- ・ 統合に向けて、保護者、教職員、地域と教育委員会が連携を図り、子どもたちの不安を解消していただきたい。また、統合後についても、在学途中で統合する生徒の心理的な面に配慮していただきたい。
- ・ 旧町を越えて通学する生徒について、安全に通学ができるよう配慮していただきたい。通学バスの便については、部活動後の下校時間にも対応するなど工夫していただきたい。
- ・ 統合後の教育環境に支障がないよう施設整備に努めていただきたい。
- ・ 地域行事などにおいては、統合後も地域と学校との協力関係がつけられるよう配慮していただきたい。